

## Vancouver での留学生活

BC Cancer Agency  
University of British Columbia

青木 智広  
(ブリティッシュコロンビア大学)

2017年4月からカナダの Vancouver にあります The University of British Columbia (UBC)/BC Cancer にある Dr.Steidl lab にてポスドク研究員として在籍しております。Vancouver は、カナダの西海岸に位置し、カナダの中では温暖な気候に属する都市です。米国との国境にも近く、米国のシアトルへも車で数時間で行ける距離にあります。治安もよく、世界でもっとも住みやすい都市に選ばれたこともあるようですが、最近では物価の異常な高騰により、僕ら留学生にとっても生活は決して楽とは言えません。しかし、都会でありながら、すぐ近くに海や山の大自然が広がっている環境は非常に心地よく、大自然を満喫できる素敵な場所であることは間違いありません。特に夏は晴天に恵まれる日が多く、気温は高くなっても 25℃前後で、湿気も少なく本当に気持ちいいです。逆に秋から冬は雨の日が多いですが、最低気温が氷点下5度を下回る日はほとんどなく、平野部での積雪も多くない一方で、近くに多くの山があり、気軽にスキーなどのウインタースポーツを楽しむこともできます。

カナダは、移民を積極的に受け入れる国であり、国際色豊かなことも特徴です。街では世界各国の料理を本場の味で味わうことができ、外国人である私たちにも皆とても温かいです。それは研究室も同様で、所属するメンバーの出身国も日本、カナダの他に、イタリア、オランダ、ドイツ、イギリス、フランスなど様々です。

私が研究している悪性リンパ腫に関しては、研究室のあるブリティッシュコロンビア州では州全体で統一された治療形態を採用していることが最大の特徴で、均一の治療プロトコールの下、治療を受けた患者の臨床情報やそれと紐づけされた臨床検体が、質の高いデータベース上で保存されております。Steidl Lab ではこうした臨床検体を用いて、腫瘍と腫瘍周囲の微小環境の相互作用に焦点を当てて、シングルセルシーケンスなどの最先端の遺伝子解析技術を応用し、網羅的な遺伝子解析やそれを基にした機能解析などを僕のような、MD・PhD と Non MD の純粋な Biologist、Bioinformatician などが協力しながら研究を進めております。

この1年間は、こちらにきて携わった最初の研究を論文として公表したり、Canada の Fellowship や Grant に応募・獲得する機会にも恵まれ、今後の飛躍につながる1年になったと思います。こちらの研究者の姿勢で、特に見習わなければいけないと思っているところは、常に最先端の技術を取り入れながら科学を追求する姿勢と、共同研究の迅速さと質の高

さです。最近の研究技術の進歩を考えると、一つの研究を一つの Lab 内だけで完結させるのは非常に難しくなっていると思います。そんな中、北米の研究者たちは、盛んにそれぞれの Lab の長所を生かした共同研究を進め、それにより飛躍的に研究の効率を上げています。国内だけでなく国際的なコラボレーションを推進していくことは、今後の研究生活で必須であると考えております。私自身はこちらで獲得した Fellowship を元に、今後もしばらく Vancouver で研究生活を継続する予定です。末筆ではございますが、このような貴重な機会をご支援いただきました上原記念生命科学財団の皆様にご心より感謝申し上げます。



ノースバンクーバーにあるシーモア山からの冬の夜景